

## シェフ紹介：加藤哲義

**JUST.**  
SYSTEMS



DITAコンソーシアムジャパン事務局長、XMLコンソーシアム・エバンジェリスト

### 経歴

1999年、世界初の商用XMLDBに出会い、そのアナーキーな可能性に魅せられ、ビジネス責任者として8年に渡りXML市場開拓に従事。2009年2月、DITAコンソーシアムジャパン発起、設立を推進し、事務局長として活躍中。株式会社ジャストシステム新規事業企画開発部ディレクター。

- **株式会社ジャストシステム エンタープライズ事業部**
  - DITAビジネス統括シニアマネージャ、シニアコンサルタント
- **DITAコンソーシアムジャパン**
  - 理事、事務局長
  - DITAバンデミック部会議長
- **XMLコンソーシアム（現、先端IT活用推進コンソーシアム）**
  - XMLDB部会リーダー
  - XMLエバンジェリスト

# DITA 入門

## DITAとは

**OASIS**（構造化情報標準促進協会）が策定する、  
情報の制作、管理、活用のための、  
**XML**に準拠したアーキテクチャ。

2001年 **IBM**が社内文書用**SGML**後継技術として開発  
2004年 **DITA**仕様書を**OASIS**に寄贈  
2005年5月 **OASIS DITA1.0**仕様承認  
2007年8月 **OASIS DITA1.1**仕様承認

**OASIS** 

<http://www.oasis-open.org/home/index.php>

## DITAの系譜

### SGML 構造化文書コンテンツ (ISO策定)



航空宇宙、軍事、医薬、自動車、コンピュータでの文書電子化

### XML インターネットコンテンツ (W3C策定)



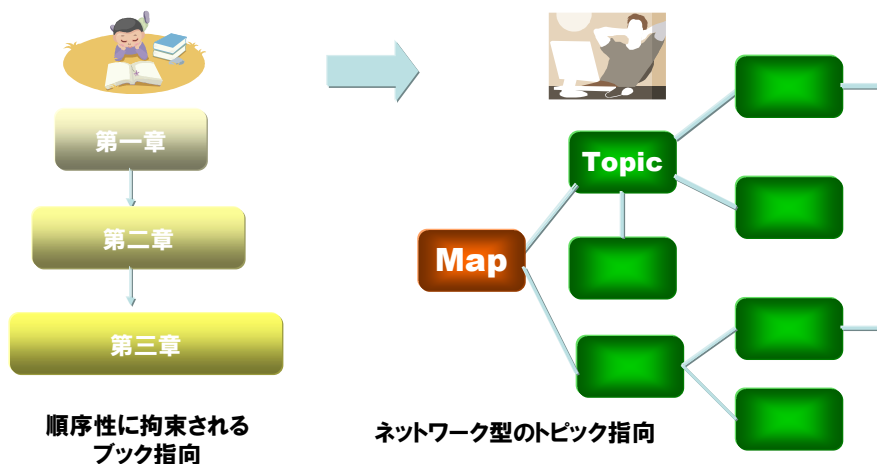
通信プロトコル、ソフト開発、B2B(企業間取引でのデータ交換)

### DITA トピックコンテンツ (OASIS策定)

テクニカル文書、オンラインヘルプ、企業間コンテンツ交換

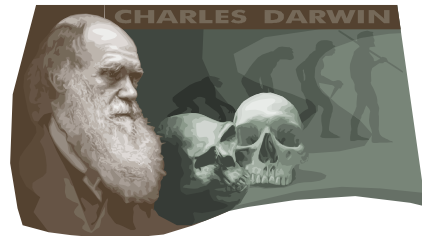
## トピックベースの読者

インターネット時代、ユーザは自分に必要なトピックを拾い読みし、  
関連性(リンク)で、任意に知識を拡張していく癖がついてきた。



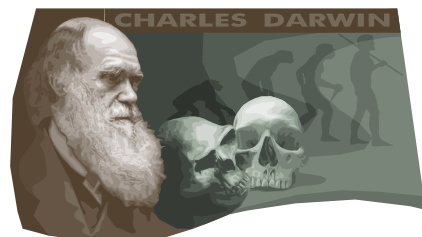
DITAの特徴

# Darwin Information Typing Architecture

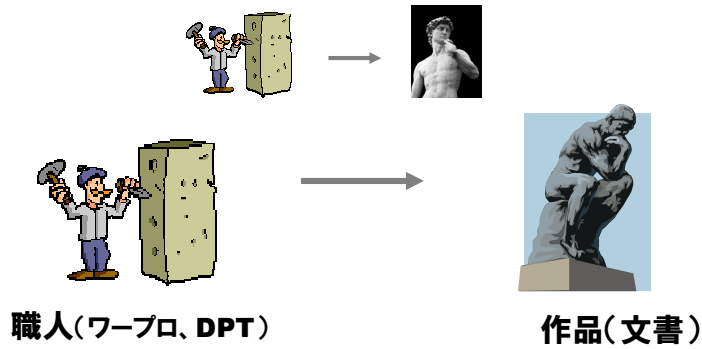


DITAの特徴

# Darwin Information Typing Architecture



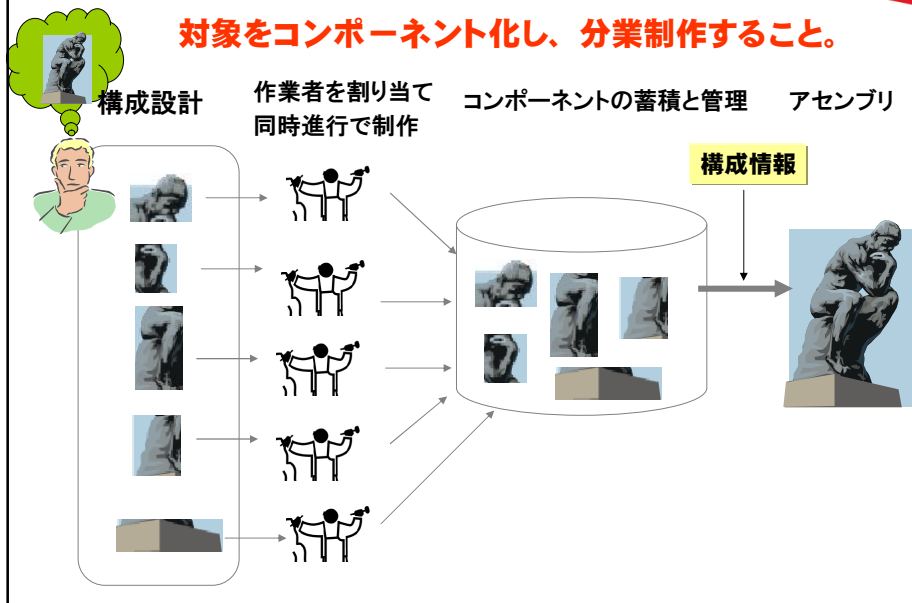
# ありがちな文書制作 = 一刀彫りのように文書を作る



文書単位で完結している  
使い回しが効かない  
制作工程はシーケンシャル  
様式、体裁、用語は人依存

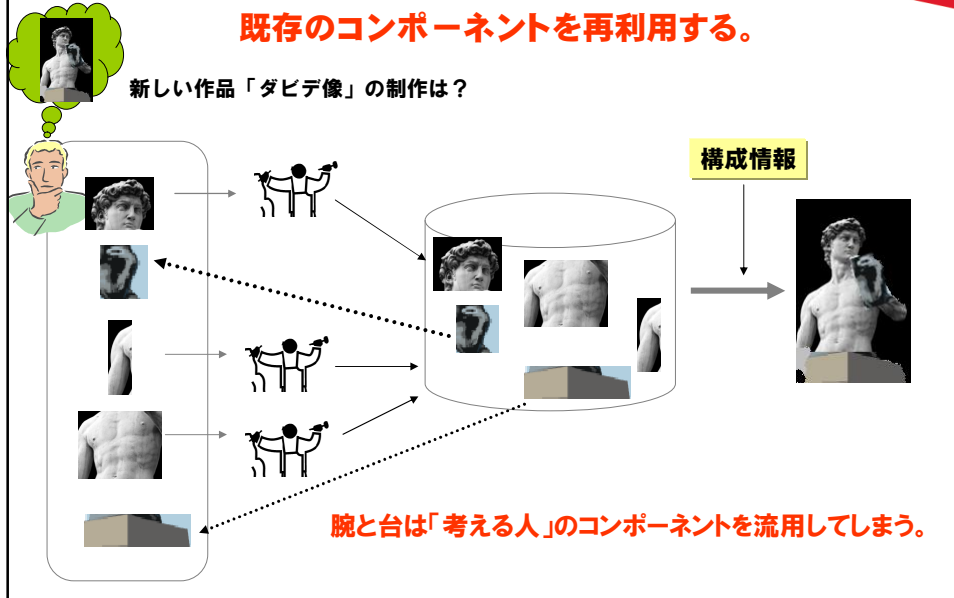
## DITAが想定する制作工程 (1)

対象をコンポーネント化し、分業制作すること。



## DITAが想定する制作工程（2）

既存のコンポーネントを再利用する。



## 比較

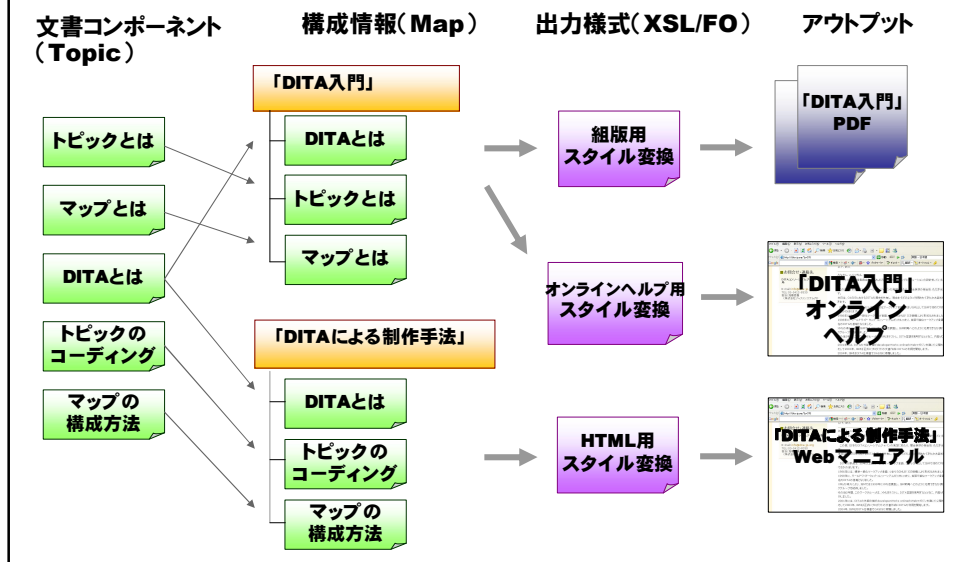
### 一刀彫り制作

文書単位で完結している  
使い回しが効かない  
制作工程はシーケンシャル  
様式、体裁、用語は人依存  
WYSIWYG

### DITA制作

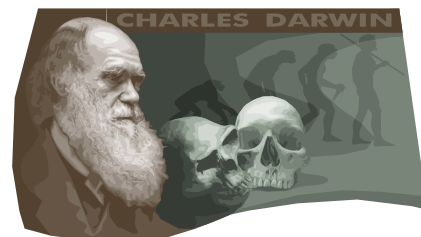
トピック単位で完結している  
使い回しすることが前提  
制作工程はコンカレント  
様式、体裁、用語を統制  
非WYSIWYG  
(内容と見た目の分離)

## DITAによる文書制作・パブリッシングの流れ



## DITAの意味

# Darwin Information Typing Architecture



## topic


- **topic**とは主題（タイトル）とその説明（内容）できている情報の塊。
- それ単体で意味を成す十分な長さ
- 読者の課題の解答として無駄の無い簡潔さ
- **topic**はその情報タイプ（**topic**タイプ）に最適な要素セット（**DTD**）が用意されている。

## DITAのInformation Typing

DITAでは伝えるべき情報の性格特性に応じた情報タイプが用意されている。

- **generic topic** 汎用的な情報（最初の**Topic**、特殊化の源泉）
- **concept topic** 概念（それは何か？に応える）
- **task topic** 手順、手段（どのようにしてゴールに至るか？に応える）
- **reference topic** コマンドやAPI等のリファレンスコンテンツ
- **glossary topic** 用語解説
- **ditabase topic** 混成**topic**

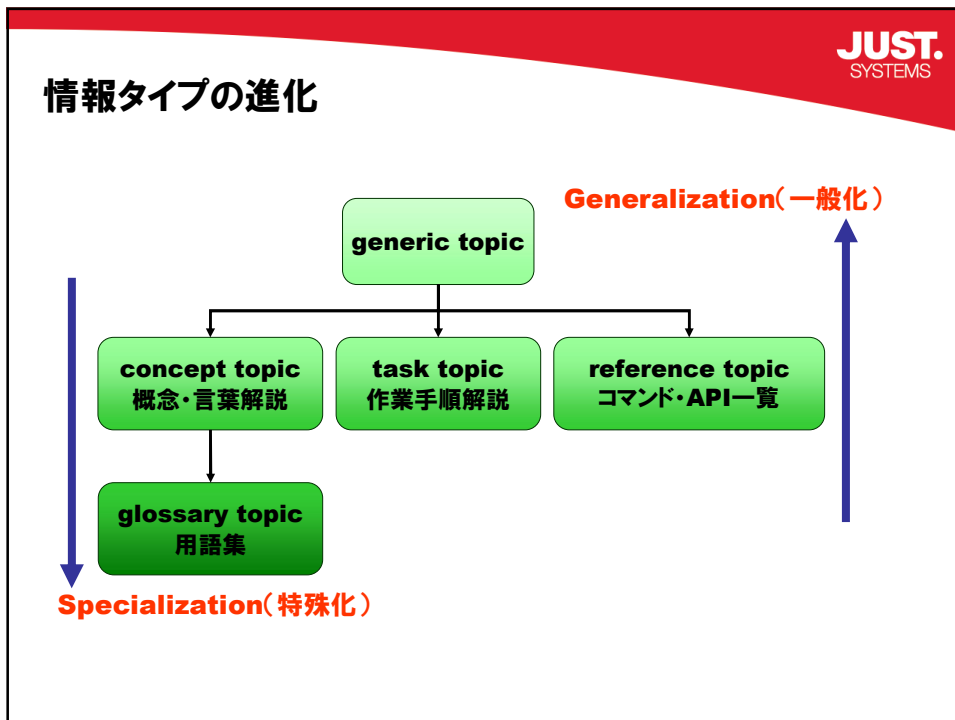


**XMetaL Author**  **JUST. SYSTEMS**

**DITA topicタイプのテンプレートが用意されている。**

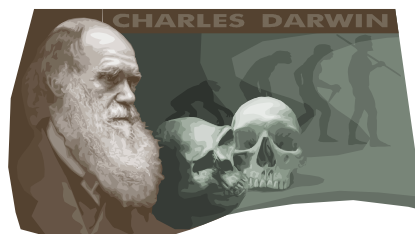


The screenshot shows the XMetaL Author Enterprise interface. The 'New Template' dialog box is open, displaying various template categories. The 'DITA topic' category is selected, and several DITA topic templates are visible, including 'Concept', 'Task', 'Reference', 'List', and 'Table of Contents'. The 'DITA topic' sub-tab is active, showing specific DITA topic templates like 'DITA topic - 1 page' and 'DITA topic - 1 page - glossary'.



## DITAの意味

# Darwin Information Typing Architecture



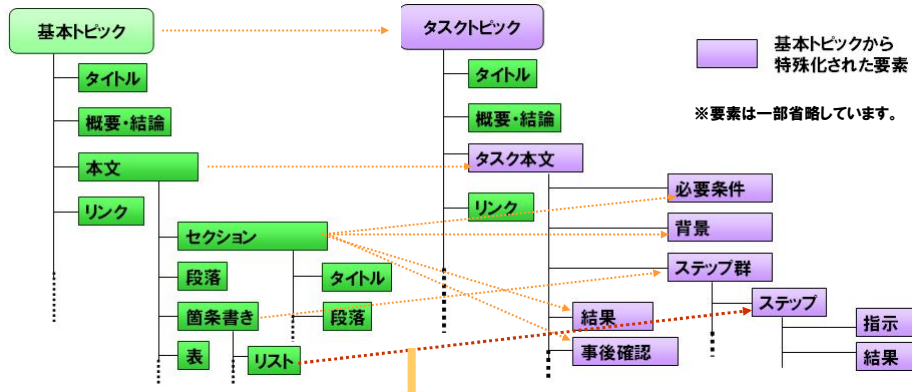
## Specialization（特殊化）

既存の情報タイプ（DTD）を拡張したり、改造して、自分の用途により最適化した新しい情報タイプ（DTD）作成したり、要素、属性を追加、変更すること。

「生物学では、進化においてより狭い範囲の条件に適応するのが特殊化という。たとえばさまざまな獲物を食べる動物より、特定の獲物だけを狙う動物のほうが食性が特殊化している。これは構造、あるいは習性や行動の特殊化とも対応する。」

wikipediaより

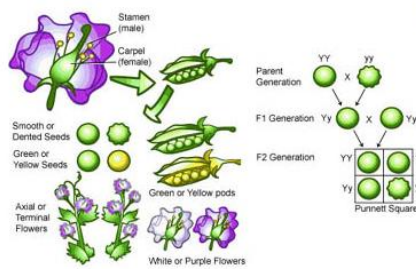
generic topic (基本トピック) から task topic (タスクトピック) への特異化



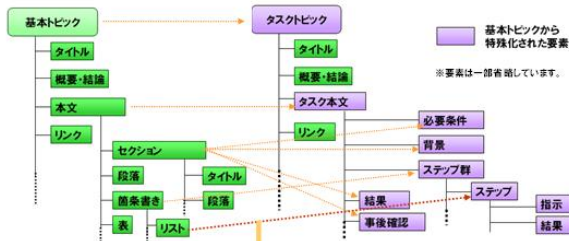
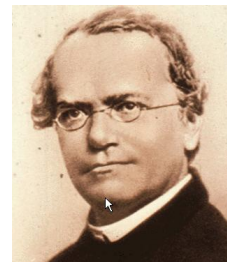
リスト → ステップ の特殊化は、task.mod で以下のように定義される。

```
<!ATTLIST step %global-atts; class CDATA "- topic/li task/step" >
```

最初はDITAではなくMITAだった



Gregor Johann Mendel



## 特殊化のメリット

### 技術メリット

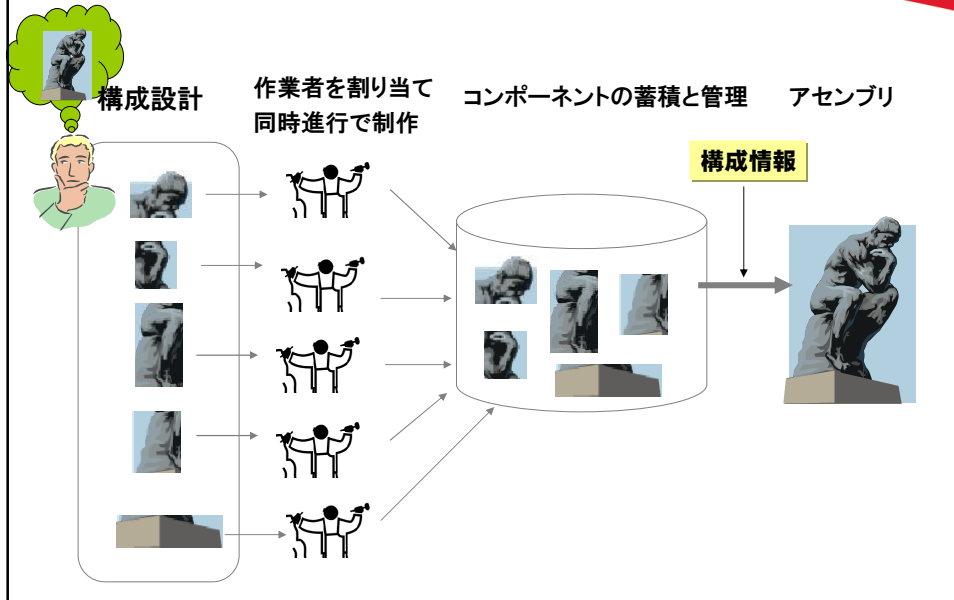
- ・既存のDTDを流用するので、一からDTDを設計しなくてもよい。
- ・新しい要素を作っても既存の出力アプリ(XSL)を変更しなくても良い。
- ・高度な出力処理のための要素を作れる。

### 業務メリット

- ・業務の目的、実態に則した要素セットを作ることで業務システムを作りやすく、運用しやすくする。
- ・使用できる要素を限定することで、最適な入力、適切な管理ができる。
- ・メタ情報など、ユーザになじみのある言葉を要素名にすることで、検索性、再利用性が高まる。

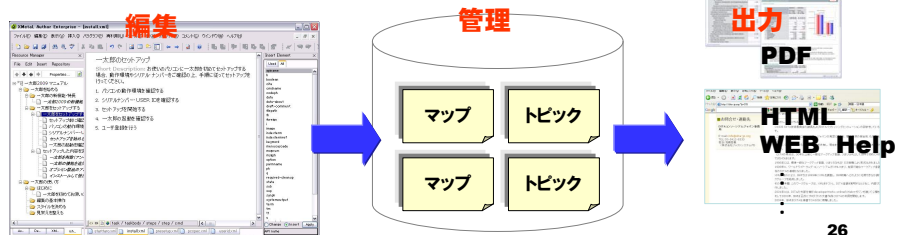
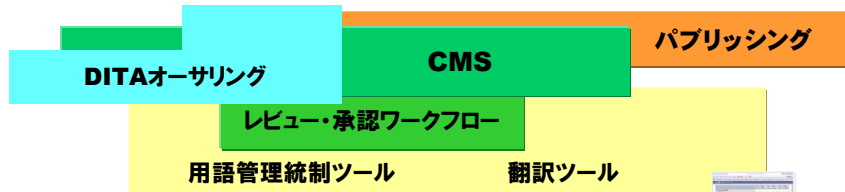
## XMetaL Author の紹介

## DITAが想定する制作工程



## DITAの処理系

マップ設計    トピック制作    コンテンツの蓄積と管理    アセンブリ 出力



## ジャストシステムのDITA処理系のラインナップ

DITAオーサリング	<b>XMetaL Author</b> <b>XMAX</b> (英語版)
用語統一・校正	<b>JustRight! ATOK辞書</b>
レビュー/承認ワークフロー	<b>XMetaL Reviewer</b> (英語版)
topic、map最適検索 (全文、タグ、概念、類似検索)	<b>ConceptBase EnterpriseSearch</b>
パブリッシング	<b>RenderX XEP</b> (XMetaL Author にバンドル) <b>AH Formatter</b> (別売)
DITA導入支援サービス	<b>DITA/XMetaLトレーニング</b> <b>文書解析査定&amp;DITA化ガイドライン策定</b> <b>DITAプロジェクト推進支援</b>

## XMetaL Author Enterprise Edition 6.0J : 構成と内容をそれぞれ編集できる

マップ(文書構成)

トピック(文書内容)

要素

The screenshot shows the XMetaL Author Enterprise Edition 6.0J interface. On the left is a project tree with folders like '一次郎2010マニュアル' and '一次郎2010の新機能・特長'. The main content area displays a document titled '一太郎2010の新機能・特長' (XEROX 2010 New Features and Special Features). A red circle highlights the 'トピック(文書内容)' window, which contains a bulleted list of features:

- カラースキーマ
- POP文字
- ツールボックスの引き継ぎ
- Windows 7対応
- PDF形式ファイルに対応
- コンテンツの強化
- ...

Below the list is a promotional banner for 'XEROX 2010 [25周年記念パック]' (25th Anniversary Commemorative Pack) featuring logos for Windows 7, XEROX, ATOK, ZWAY, and JUST Suite. On the right, a '要素' (Elements) list is visible, showing a tree structure of document elements like 'loginname', 'bodyname', 'condname', etc.

## XMetaL Author 23年の歩み



## XMetaL Authorの特長

- 世界3000社が認めたXML/DITAオーサリングツールの決定版
- DITAの高度な仕様を優しいGUIで実現
- ワープロ感覚でトピック指向の文書作成を支援
- XMetaLから直接PDF、HTML形式で出力可能
- 業務、ユーザにあわせ、特殊化対応や機能・メニューなどカスタマイズが可能
- 誤用・表記揺れなどの校正を可能にするJustRight!との連携
- 多様な外部システム(CMSなど)とのシームレスな連携

**JUST.**  
SYSTEMS

## XMetaL導入ユーザ例

ハイテク	自動車	航空宇宙
出版	金融	その他

31

**JUST.**  
SYSTEMS

## XMetaL Authorと連携可能な海外CMS製品

<http://forums.xmetal.com/index.php?topic=608.0>

Alfresco	Reva Solutions	SharePoint	Microsoft. Integration is sold and supported by JustSystems.
Astoria On-Demand	Astoria Software	SiberSafe	SiberLogic®
Contenta	SDL XySoft®	TCToolbox	Ovidius
DITA CMIS Explorer	DITALabs	Teamcenter®	Siemens®
Documentum®	EMC®. Integration is sold and supported by JustSystems.	Trisoft CMS	SDL Structured Content Technologies
DocZone.com®	Really Strategies™	Vasont®	Vasont Systems
FileNet® P8	IBM®. Integration is sold and supported by JustSystems.	XDocs	Bluestream
Hybrix®	Siemens	XMS	4Dconcept
Modulux	Koala Publishing	x:Point	Suite Solutions
SCHEMA ST4	SCHEMA GmbH		



JustSystem Canada Inc. のサイト

JUST. SYSTEMS

na.justsystems.com/content-xmetal-author

JUST. SYSTEMS

Contact Us | Community Forums | Commentaries | 日本語サイトへ | 製品情報 (日本語)

Products | Solutions | Partners | Services | Support | News & Events | About | Knowledge Center

Home > Products > XMetaL > XMetaL Author Enterprise Forward to a Friend

XMetaL

- Overview
- **XMetaL Author Enterprise**
  - DITA FAQ
- XMetaL Reviewer
- XMAX
- XMetaL Author Enterprise for Documentum Webtop
- XMetaL Author Enterprise - SP Edition
- XMetaL Author Enterprise – IBM FileNet Edition
- XMetaL Developer

Support

- Overview
- Policies & Packages
- Software Downloads
- Technical Information
- Community Forums

Related Links

- Product Overview - XMetaL Author Enterprise

**XMetaL Author Enterprise**

The solution for consistently higher-value, timely global content that creates loyal customers and efficient, compliant business processes.

XMetaL Author Enterprise helps you get to market faster by bringing structure and automation to the process of content creation. Using XML standards such as the Darwin Information Typing Architecture (DITA), XMetaL enables authors and contributors to collaborate effectively—and to repurpose higher-value information products into the myriad of languages and formats your customers demand.

When used with XMetaL Reviewer 6.0, organizations can take advantage of a unified and collaborative authoring and reviewing solution. No more emailing files for review or managing different versions of reviewed content. Refer to XMetaL Reviewer 6.0 for more information.

Used standalone or integrated with virtually any content management system, XMetaL helps even non-technical writers to create and collaborate on reusable content without needing to be proficient in XML—and ensures that the process of content creation contributes to the timely market release of products worldwide.

**Highlights of New Features in XMetaL Author Enterprise 6.0**

- **Support for XML Inclusions (XInclude).** XMetaL can display text or XML content included by via the XML inclusions (XInclude) mechanism.

**Next Steps**

- Free Trial
- Watch a Demo
- Download White Paper
- Register for Webinar

JUST. SYSTEMS

本日のテーマ

**広島風お好み焼きの作り方**

**XMetaL Authorを使ってDITAで書いて、PDFとWEB化してみる。**

## 構成を考える



### 「広島風お好み焼きの作り方」の構成

1. 基本情報
2. 材料情報
3. 調理手順説明
4. 補足情報
  - ・用語説明（道具）
  - ・比較情報

concept topicを書く



## マスター内容

- topicの構造理解
  - 構造要素
  - ブロック要素
  - フレーズ要素
- タイトル
- 要約
- 段落
- セクション
- 箇条書き
- ノート
- イメージ
- メタ情報
- PDF、HTML出力



## 基本情報：広島風お好み焼きとは

広島風お好み焼きは、多層構成のお好み焼きの代表的存在である。

### お好み焼きとは

小麦粉を水で溶いた生地と野菜、肉、魚介、麺類などの具を併せて鉄板の上で焼き、ソース、マヨネーズなどの調味料を付加して食する料理である。

### 広島風お好み焼きの特長

お好み焼きはその調理法から、大きくは関西風と広島風に二分される。広島風は、生地の上に具を載せ、さらに卵で表面を包むことで、素材の風味と食感のバリエーションを味わえることが特長である。

### 広島風お好み焼きの構造

概ね次の3層を成す。

#### 1. 生地層

- ・小麦粉溶液を焼いて作る円形の薄い膜
- ・食材を載せるコンテナとしての役割を担う
- ・生地の柔らかさ、薄さは食感に強い影響力を与える

#### 2. 具層

- ・キャベツや肉、魚貝、麺などからなる中心的な層
- ・生地面積に対し大量投入される具に圧倒されるが、鉄板の熱で圧縮され最終的に料理としてのまとまりがつく

【ヒント】具層に使う食材が各自お好みに行えることが「お好み焼き」名称の由来である

#### 3. 表層

- ・卵を焼いて作る最上面の層
- ・ソース、青のりなどでコーティングし最終的な味の調整がなされる

## reference topicを書く



## マスター内容

- reference topicの役割
- reference topicの構造
- 表の作り方
  - 行、列の追加、結合
  - 表中のイメージ、ノート



## 材料説明

### 1人分の材料

材料	量
小麦粉	35g
水	50cc
キャベツ	1/4個
もやし	50g
豚ばら薄切り	50g
焼きそば	1玉
天かす	適量
鯉節	一つかみ
卵	1個
ソース	50g
青のり	適量
マヨネーズ	お好みで適量

task topicを書く



## マスター内容

- task topicの役割と位置付け
- task topicの構造
- 手順（ステップ）の作り方
- 事前準備、事後処理の書き方
- 他のtopicの一部を引用する



## XMetal メニュー からtask topicの要素を挿入



The screenshot shows the XMetal Author software interface. The 'Insert' (挿入) menu is open, and the 'Steps' (ステップ) option is selected. The sub-menu for 'Steps' is also open, showing options like 'Steps List' (ステップリスト), 'Orderless Task Steps' (順序なしタスクステップ), 'Steps' (ステップ), 'Commands' (コマンド), 'Information' (情報), 'Tutorial' (チュートリアル), 'Examples' (例), and 'Results' (結果). A red circle highlights the 'Steps List' option. Another red circle highlights the 'Task prerequisites' (タスクの必要条件) option in the 'Examples' sub-menu.

## 広島風お好み焼きの調理手順

### 事前準備

#### 材料一覧

#### 手順

##### (1)鉄板を200度程度に熱しておく

注意：最初から250度以上だと生地が焦げる

##### (2)生地を焼く

- ・小麦粉を水に溶かしよく混ぜ合わせて汁をつくる
- ・お玉一杯分の汁を鉄板の上に円状に拡げる
- ・10分程度放置する

##### (3)具を盛る

- ・一つかみの野菜を生地の上に盛る
- ・天かすをまぶす
- ・豚肉を載せる
- ・ひっくり返して10分間蒸らす

##### (4)焼きそばを詰め込む

- ・焼きそばを鉄板に拡げて蒸らす
- ・生地をはがして焼きそばを載せ、生地を戻す

##### (5)卵で表面をつくる

- ・卵を鉄板で薄く円状に焼く
- ・卵の上に生地と具を乗せ1分焼く

##### (6)仕上げる

- ・全体をひっくり返す
- ・ソースを塗る
- ・鰹節、青のりをかける



glossary topicを書く



## マスター内容

- glossary topicの役割
- task topicの構造
- 用語集の作り方



## 用語説明（道具）

### コテ

お好み焼きなどをひっくり返したり切断する金属性の道具。製品名称としては「起し金」。地域によっては「ヘラ」、「テコ」という呼び方もある。サイズは様々だが、大型のものは調理で、小型のものは食べる際に使われる。

### 鉄板

食材を直接加熱調理する鉄製の板。お好み焼きに使う場合、薄いと焦げ付きやすく、厚いと熱効率が悪く燃料の損失になる。8ミリ程度が最良とされる。店舗でお好み焼き台（カウンター）として使う場合は、余熱で数をこなすことができるので厚めの鉄板を利用する。

mapを作る



## マスター内容

- mapによる編纂方法
- mapの階層化
- bookmapの作成
- 索引の設定
- PDFやWEB Helpへの出力
- 派生文書展開や多国語展開のしかた



## 再利用の設定



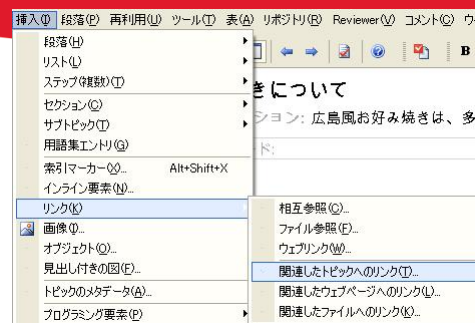
## マスター内容

- topic参照パターンの総合的理解
- topicファイルの参照設定
- topicコンテンツの参照設定



## topicファイルのリンク

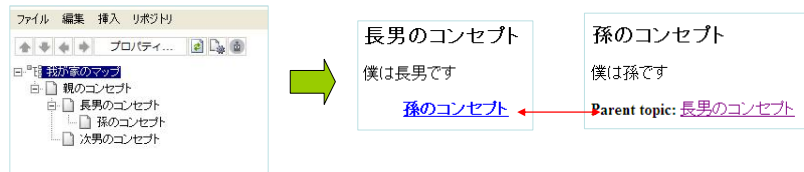
- 関連したtopicへのリンク
  - related-links要素を使う
  - トピックの最後に羅列。
- 相互参照
  - xref要素を使う
  - 任意箇所にリンクを挿入



リンク(L)	相互参照(C)...
画像(I)	ファイル参照(F)...
オブジェクト(O)	ウェブリンク(W)...
見出し付きの図(F)	関連したトピックへのリンク(T)...
トピックのメタデータ(M)	関連したウェブページへのリンク(L)...

## mapによるtopic間参照の設定

- topicの階層化

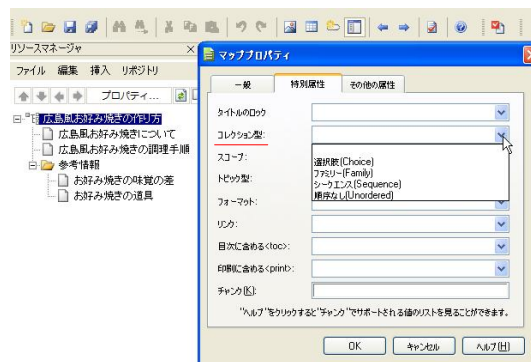
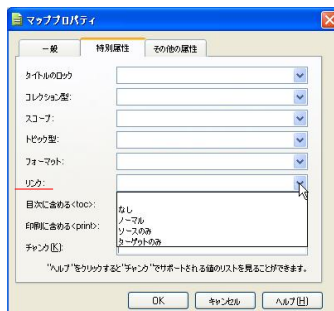


## mapによるtopic間参照の設定

- mapの属性による設定

collection-type属性

linking属性



## mapによるtopic間参照の設定

### ・mapの関連テーブルによる設定

表(A) リポジット(R) Reviewer(V) コメン

- 関連テーブルを挿入(I)...
- 関連テーブルのプロパティ(P)
- 行または列を挿入(I)
- 行の削除(D)
- 列の削除(D)

<map	マップ	<title	広島風お好み焼きの作り方	</title
</reftable				
Type = "task"	Type = "concept"	Type = "reference"		
</reftable				

表中のすべてのtopicに  
双方向でリンクが作られる。

Type = "task"	Type = "concept"	Type = "reference"
<a href="#">広島風お好み焼きの調理手順</a>	<a href="#">広島風お好み焼きについて</a>	<a href="#">広島風お好み焼きの材料</a>

**広島風お好み焼きの調理手順**

- 卵で表面をつくる
  - 卵を割ってコテでつぶし鉄板で薄く円状に焼く
  - その上に生地と具を乗せ1分焼く
- 仕上げる
  - 全体をひっくり返す
  - ソースを塗る
  - 鰹節、青のりをかける
 出来上がり

- 食事用の子ゴテと箸をユーザに提供する
- ユーザ好みの味に調整できるよう、ソースなどの調味料を提供する

Related concepts  
[広島風お好み焼きについて](#)

Related reference  
[広島風お好み焼きの材料](#)

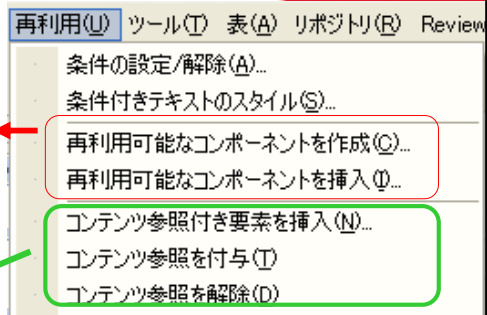
## topicコンテンツの引用

### ditacomponentによる参照

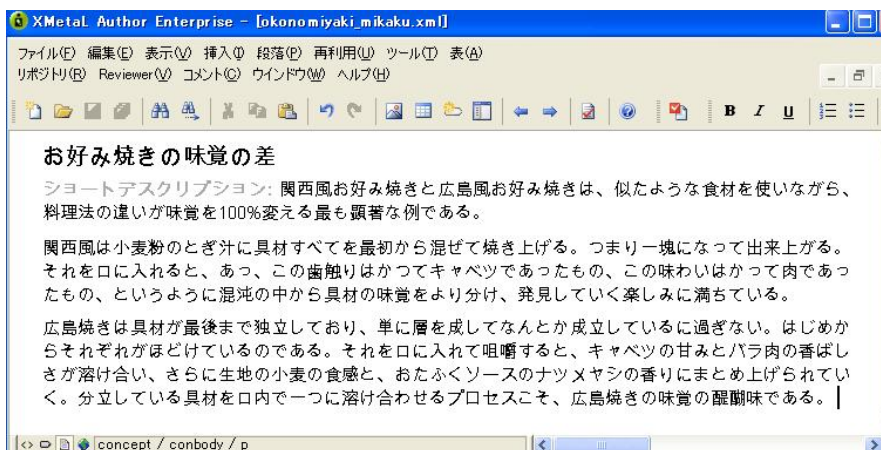
- 参照箇所 = topicファイル
- 1topic = 1部品

### • conref属性による参照

- 参照箇所 < topicファイル
- 1topic ≠ 部品



## 参照されるtopic



# 文書校正



## 校正ツールJustRight!との連携

**校正前のトピック**

**ツールバーのアイコンから起動**

**校正済みのトピック**

**元文書上で修正点の確認・承認**

**JustRight!上で指摘された点の確認と修正**

**JustRight!**

誤字・誤用、不適切な表現や、表記揺れなどを自動的に検出し、変更候補を提示します。



**XMetal Author の文書 - Just Right!4: 文章校正支援ツール**

ファイル(F) 編集(E) 表示(V) 校正(C) ツール(T) ヘルプ(H)

新規作成 開く 上書き保存 指挿印刷 取り消し 取消済す 切り取り コピー 貼り付け 反映終了

指挿色変 校正設定 標準・ルール辞書サンプル 校正実行 前の指挿 次の指挿 スカール 指挿内訳 指挿全消

指挿色説明 誤り 用語 表紙 字種 長さ 罫・印 レベル1 レベル2 レベル3 Spell

校正ウィンドウ

校正結果 表記ゆれ

表記ゆれ一覧(L) 再チェック(C)

表記ゆれ一覧(L)

- 魚介(1) / 魚貝(1)
  - 野菜、肉、魚介、麺類など
  - パツ肉、魚貝、麺などか
- な(2) / 成(1)
  - 層さを成す生地層
  - 麺などからなる中心的な
  - 味の調整がなされる

広島風お好み焼きについて  
 広島風お好み焼きは、多層構成のお好み焼きの代表的存在である。  
 お好み焼きとは  
 小麦粉を水で溶いた生地と野菜、肉、魚介、麺類などの具を併せて鉄板の上で焼き、ソース、マヨネーズなどの調味料を付加して食する料理である。  
 広島風お好み焼きの特長  
 お好み焼きはその調理法から、大きくは関西風、関西風、生地の上に具を載せ、さらに卵で表面を包むことで、素材の風味と食感のバリエーションを味わえることが特長である。  
 広島風お好み焼きの構造  
 概ね次の三層  
 三層  
 ! ...

広島風お好み焼きについて  
 ショートデスクリプション: 広島風お好み焼きは、多層構  
 プロローグ: キーワード:  
 お好み焼きとは  
 小麦粉を水で溶いた生地と野菜、肉、魚介、麺類などの具を併せて鉄板の上で焼き、ソース、マヨネーズなどの調味料を付加して食する料理である。  
 広島風お好み焼きの特長  
 お好み焼きはその調理法から、大きくは関西風、関西風、生地の上に具を載せ、さらに卵で表面を包むことで、素材の風味と食感のバリエーションを味わえることが特長である。

**XMetal Author**

## よりDITAに適した文章作成を支援するacrolinx IQとの連携

XMetalとシームレスに連携する acrolinx IQ プラグイン

acrolinx IQの適用範囲

- 言語固有: 用字、用語、表記の統一
- 文の構造: 係り受け、長さ、構成要素
- 文章の構造: 段落、章立て、表組み
- 多言語翻訳に影響
- 内容: 情報の正確さ、適切さ

DITA、トピックライティング

背景知識、経験

クライアント/サーバー型  
 「文レベル~用字・用語レベル」の品質管理・校正支援システム。  
 日本語、英語、ドイツ語に対応  
 XMetalから利用可能  
 DITAと親和性が高いシンプルリファイドテクニカルジャパニーズ (STJ) ルールセットを用意。「英訳を意訳したわかりやすい日本語」を書くための支援を提供。  
 ASD-STE100にも標準対応  
 翻訳前の用字・用語・表記を統一することで、翻訳品質を底上げし、翻訳コストを削減

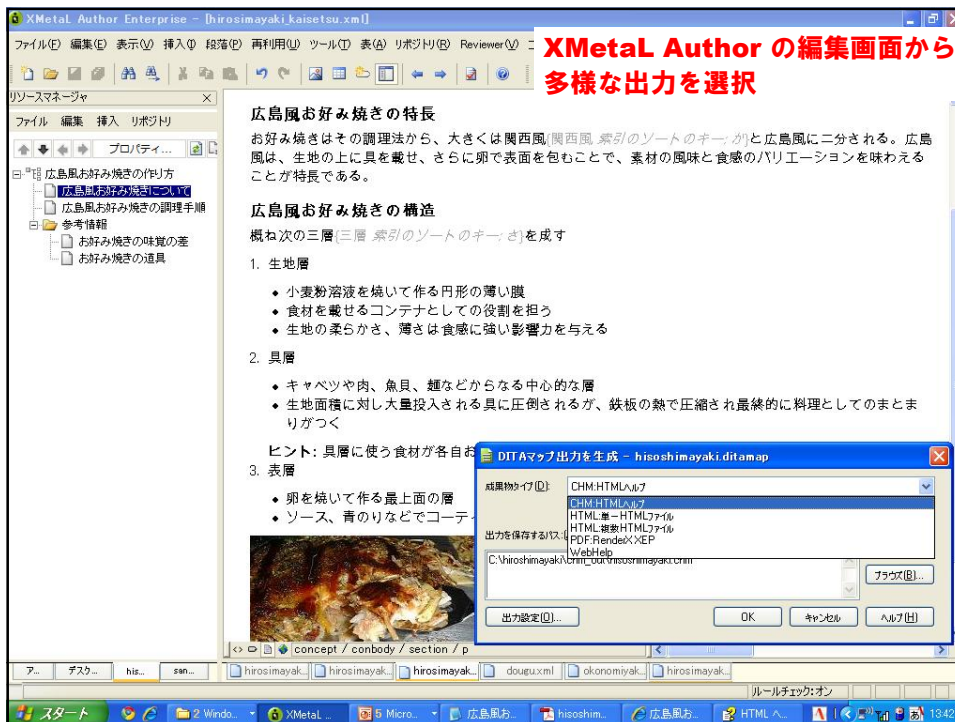
インクにじむことがあるため、表面が柔らかい用紙を複数枚重ねて印刷する必要があります。  
 特別な用紙を使用して印刷する際、用紙セットから上層の用紙が破れることは避け、手差しトレイから用紙を一枚ずつ取り出します。それを行わないで用紙が破れると印刷が正常に行われません。  
 原紙ガイドと異なるサイズの用紙を使用すると、印刷の向きを修正できないで用紙が破れる原因となります。

用語管理もサーバーで一元的に。正しい用語を登録すると、そのバリエーションを自動的に検出します。

便利なお使い方は、MFP-XC7000は、DITA ツール・ヒアットアップでのプリンタ設定に対応していただけます。たとえば、一層のプリンタ設定から複数のスタッフで同じプリンタを使用する場合は、MFP-XC7000のDITA設定を共有してください。

英訳しやすい日本語を書くためのルール、ノンネイティブのための英語ルールなどを用意

# 仕上がり



PDF出力

目次

広島風お好み焼きについて

広島風お好み焼きの調理手順

参考情報

広島風お好み焼きの作り方

### 広島風お好み焼きについて

広島風お好み焼きは、多量構成のお好み焼きの代表的存在である。

お好み焼きとは  
小麦粉を水で溶いた生地と野菜、肉、魚介、麺類などの具を併せて鉄板の上で焼き、ソース、マヨネーズなどの調味料を付して食する料理である。

広島風お好み焼きの特色  
お好み焼きは中身の調理品が、入らずは焼き型を焼く間に2分程度、広島風は生地の具を乗せ、さらに調理品を乗せて3分程度焼くことにより、具材の風味と食感の両方を味わうことができる。

広島風お好み焼きの調理手順  
焼く前の工程を確認する

1. 生地  
・小麦粉を水で溶いて小麦粉の塊がないように攪拌する  
・食器を洗ったコップなどで攪拌する  
・生地を柔らかく、練り上げる  
・生地の量に注意し、厚さを揃える
2. 具  
・キャベツ、肉、魚介、麺類などを中身の調理品としてお好み焼きの具材として用意する  
・具材の調理品は、あらかじめ調理しておく  
・生地の量に注意し、肉や魚介は具材に厚さを揃える  
・具材の調理品は、あらかじめ調理しておく
3. 焼く  
・焼き型を用意する  
・ソース、マヨネーズなどをあらかじめ準備しておく



広島風お好み焼きの調理手順

材料(1人分)

種類	材料	量
生地	小麦粉	30g
	水	50cc
	塩	10g
具	キャベツ	100g
	肉	50g
	魚介	50g
調味料	ソース	10cc
	マヨネーズ	10cc

1. 焼き型に生地を流し入れる  
※ 焼き型に生地を流し入れるときは、生地が焦げないように注意する。
2. 具材を乗せる  
※ 小麦粉を水で溶いた生地の上に具材を乗せる。  
※ 具材の調理品は、あらかじめ調理しておく。
3. 焼き型を回す  
※ 焼き型を回すときは、生地が焦げないように注意する。  
※ 焼き型を回すときは、生地が焦げないように注意する。

広島風お好み焼きの調理手順

### 参考情報

#### お好み焼きの味覚の差

広島風お好み焼きと広島風お好み焼きは、似たような食材を使いながら、調理法の違いが味覚を100%変える最も顕著な例である。

関東風は小麦粉のとぎ汁に具材すべてを最初から混ぜて焼き上げる、つまり一気になって出来上がる、それを口に入れると、あっという間に味が広がってキャベツであったもの、この味は広がって行くであったもの、というように、広島風は具材が最初から混ぜて焼き上げ、発酵している食感に感じられる。

広島風は具材が最初から混ぜて焼き上げる、つまり一気になって出来上がる、それを口に入れると、あっという間に味が広がってキャベツであったもの、この味は広がって行くであったもの、というように、広島風は具材が最初から混ぜて焼き上げる、発酵している食感に感じられる。

#### お好み焼きの道具

コト  
お好み焼きなどをひっくり返したり切断する金属製の道具、製品名としては「煎り金」地域によっては「テコ」という呼び方もある。サイズは様々だが、大型のものは調理で、小型のものは食べる際に使われる。

鉄板  
食材を直接加熱調理する鉄製の板。お好み焼きに使う場合、薄いと焦げ付きやすく、厚いと熱効率が悪く燃料のロスになる。3リットル程度が最適とされる。店舗でお好み焼き台(カウンター)として使う場合は、余裕で数をこなすことができるので厚めの鉄板を利用する。

### 索引

お	こ
おたふくソース 6	コト 5
か	さ
関西風 3, 6	三層 3

HTML ヘルプ

非表示 戻る 印刷 オプション(O)

目次(K) キーワード(W) 検索(S)

- 広島風お好み焼きについて
- 広島風お好み焼きの調理手順
- 参考情報
  - お好み焼きの味覚の差
  - お好み焼きの道具


お好み焼きはその調理法から、大きくは関西風と広島風に二分される。広島風は、生地の上に具を載らに卵で表面を包むことで、素材の風味と食感のバリエーションを味わえることが特長である。

### 広島風お好み焼きの構造

概ね次の三層を成す

1. 生地層
  - 小麦粉溶液を焼いて作る円形の薄い膜
  - 食材を載せるコンテナとしての役割を担う
  - 生地の柔らかさ、薄さは食感に強い影響力を与える
2. 具層
  - キャベツや肉、魚貝、麺などからなる中心的な層
  - 生地面積に対し大量投入される具に圧倒されるが、鉄板の熱で圧縮され最終的に料理とまとまりがつく

Tip: 具層に使う食材が各自お好みにてできることが「お好み焼き」名称の由来である
3. 表層
  - 卵を焼いて作る最上面の層
  - ソース、青のりなどでコーティングし最終的な味の調整がなされる



Related concepts

HTML Help出力

Home Contents Index Search

広島風お好み焼きの作り方

広島風お好み焼きについて

広島風お好み焼きの調理手順

参考情報

- お好み焼きの味覚の差
- お好み焼きの道具

小麦粉を水で溶いた生地と野菜、肉、魚介、麺類などの具を併せて鉄板の上で焼き、ソース、マヨネーズなどの調味料をかけるのが特徴である。

### 広島風お好み焼きの特長


お好み焼きはその調理法から、大きくは関西風と広島風に二分される。広島風は、生地の上に具を載せ、さらに卵で表面を包むことで、素材の風味と食感のバリエーションを味わえることが特長である。

### 広島風お好み焼きの構造

概ね次の三層を成す

1. 生地層
  - 小麦粉溶液を焼いて作る円形の薄い膜
  - 食材を載せるコンテナとしての役割を担う
  - 生地の柔らかさ、薄さは食感に強い影響力を与える
2. 具層
  - キャベツや肉、魚貝、麺などからなる中心的な層
  - 生地面積に対し大量投入される具に圧倒されるが、鉄板の熱で圧縮され最終的に料理としてのまとまりがつく

Tip: 具層に使う食材が各自お好みにてできることが「お好み焼き」名称の由来である
3. 表層
  - 卵を焼いて作る最上面の層
  - ソース、青のりなどでコーティングし最終的な味の調整がなされる



Related concepts

[お好み焼きの味覚の差](#)

WebHelp出力

## お問い合わせ

**株式会社ジャストシステム**  
エンタープライズ事業部 加藤哲義

**TEL : 03-5324-7961**

**E-Mail : [tetsuyoshi.kato@justsystems.com](mailto:tetsuyoshi.kato@justsystems.com)**

**<http://www.justsystems.com/jp/services/jdita/index.html>**

※本書に記載されている商品名、会社名などの固有名詞は、各社の商標及び登録商標です。  
※本書の内容の一部またはすべてを、著作者である株式会社ジャストシステムの事前の  
許可なく複製や再利用することを禁じます。